

かなぽ生命の不適正営業忘れるな

「かなぽ個人別実績表TOP300」に思

新聞報道によりますと、かなぽ生命で「かなぽ個人別実績表TOP300」というのが出回っているといえます。かなぽ生命で好成績の社員の新規契約数等が書かれており、一目瞭然に成績優秀者が分かるようになっていきます。こうしたランク付けは行き過ぎた営業に駆り立てるものにならないか危惧します。

3年前を

思い起こします

会社が営業目標を立てそれに向かつていくのは当然ですが、問題は法令を守った営業がされるかどうかです。過度の目標のためにお客さんを騙した不適正営業が発覚したのは3年前です。不適正営業は、お客さんに損害を与えると共に、社員へのパワハラも行われたのです。それによって精神的に病む社員が多くなりましたし、退職していった社員もいました。

問題が発覚すると、不適正営業の指導に従った社員は解雇を含む2千人以上に処分が出され

ました。しかし、不正営業を指導した役職者の多くは処分されませんでした。現在でも当時の役職者は残っており、営業の指導的立場にあります。

引き続き信頼

回復の努力を

会社は不適正営業問題でお客さんに謝罪し、信頼を回復するために努力していくとされています。3年も経つと、お客さんには理解と信頼もえられたとして「かなぽ個人別実績表TOP300」が出されたのかもしれない。



しかし、これが不適正営業へと駆り立てるものにならないよう注視していく必要があります。

最近始まった

旅行割引に一言

新型コロナウイルスによって亡くなった人は4万人を超えました。これだけの人が亡くなっていることをみても、新型コロナ対策は引き続き強めていく必要があります。第8波がくることも予想されていますから尚更です。

今旅行の割引が行われていますが、感染拡大につながる気があります。この割引は税金が使われているので、私達も利用したいものです。と、思っても賃金が抑えられている上に異常な物価高で旅行にいく余裕はありません。しかも、人員不足からまとまった休暇もとれません。旅行割引と共に、消費税率を下げることをやってほしいというのが現場の声です。